



建築人

12

2019



大阪ホンマもん

建築人

12

2019

目次

2	大阪ホンマもん
4	インフォメーション・事業案内
6	動静レポート
7	Topics
8	Gallery 建築作品紹介
	リッチモンドホテルプレミア京都駅前／OVOL京都駅前ビル
	設計 竹中工務店 施工 竹中工務店
	カネカ未来創造館東館
	設計 大成建設関西支店一級建築士事務所
	施工 大成建設関西支店
	二つの庭と大きなワンルーム
	設計 アトリエウルル一級建築士事務所 施工 分離発注
11	記憶の建築 松隈 洋
	新潟県民会館 一九六七年
	震災復興の記念碑的建築
14	理事会報告 建築相談室から 編集後記

まちの魅力向上に寄与する建築士

社会貢献部門長(地域支援) 仙入 洋



社会貢献部門(地域支援)は、地域委員会(大阪府内を二地域に分け、名建築見学やまち歩きを実施)、ヘリテージ委員会(ヘリテージ育成講座の開催や登録文化財活用事業を実施)、被災支援委員会(応急危険度判定連絡網の構築、行政と連携した訓練や技術研修会の開催)、まちづくり委員会(地域貢献活動助成の実施、景観まちづくり講座の開催)から成ります。建築士会内でも特にこの四委員会の活動は、地域住民や地元行政と関わる機会が多いのが特徴です。

各地のまち歩きや史跡・建物見学などを通じて地域の魅力を発見・共有し、まちの魅力向上の一助を担えればと考えています。さらに我々の活動が住民の意識改革を促し、まちづくり活動のきっかけになれば、うれしい限りです。

また、最近頻発する地震や台風などの自然災害に対する備えも重要です。将来の災害に備える「防災」力のみならず、災害後の被害を最小限に抑える「減災」力を身につける手助けを行い、地域力の向上を目指したいと思います。

建築士の職能を最大限発揮し、まちの魅力を向上させ、安心・安全なまちの実現に少しでも寄与できるように、今後とも活動を続けたいと思います。

大阪ホンマもん解説

写真 田籠哲也 文 牧野隆義

大阪市中央区の北船場には数多くのレトロビルが現役で利用されている。しかし、心齋橋に近い南船場側には数えるほどしか残っていない。今回は名レトロビルともいえる「大阪農林会館」を取りあげたい。

建物は、旧財閥である三菱合資会社から独立した三菱商事の大阪支店として昭和五年(一九三〇年)に竣工した。設計は三菱合資地所部営繕課(現・三菱地所設計)が担い、施工は大林組が請負った。

設計者は、東京の丸の内ビル(一九二三年)を筆頭に最新の建築技術を用い、装飾を抑え合理的な計画とされた。構造は鉄筋コンクリート造で、規模は地下一階・地上五階建てとされた。一階部分は石張り、それ以外は白いタイル貼りで、当時の建物とすれば大きな窓がバランスよく配され目を引く。また、窓を外壁に面して取り付けることにより、陰影を廃してブレーションでモダンな風景をつくり出している。

戦後、財閥解体による三菱商事の解散により売却され、昭和二十四年(一九四九年)に大阪農林会館が取得した。当時は農林省資料調整事務所や、食料統制などを担う事務所が入居していたが、その後は貸し事務所として運営されていた。バブルも過ぎ去った平成一二年(二〇〇〇年)頃から、周囲が建て替えなどで埋没していく中で、一周回って輝きはじめてこの建物の魅力を、アパレル関連は逃さず入居し始め、活気に溢れた魅力あるレトロビルとなった。

会場 大阪府建築健康会館6階ホール
定員 100名(定員に達し次第締切)
受講料 無料

国土交通省補助事業 改正民法に備える!建物状況調査・ 既存住宅売買瑕疵保険活用セミナー 2/13

2020年4月の民法改正において「瑕疵担保責任」の規定が無くなり、新たに「契約不適合責任」が定められることで、建物状況調査や既存住宅売買瑕疵保険の活用が求められます。本セミナーでは、弁護士・建築士・宅建士・保険取扱者が、それらの内容やメリット等について今回の講習用に作成したテキストを用い、詳しく解説します。なお、宅建業者の方を対象としたセミナーですが、宅建業者以外の方も参加できます。

日時 2月13日(木) 14:00~16:00
(開場13:30)
会場 ドーンセンター7階ホール
定員 500名(定員に達し次第締切)
受講料 無料

大阪府ヘリテージマネージャー ステップアップ(スキルアップ)講座 2/1

大阪府ヘリテージマネージャーステップアップ(スキルアップ)講座のご案内です。

- 会場、参加費等は1月号に掲載します。
- 1、「(仮)歴史文化遺産の保存活用計画について」
日時 2月1日(土) 13:00~17:00
講師 沢田 伸
(全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会前運営委員会副委員長)
 - 2、「歴史的都市性の価値を保全する変化」
日時 2月13日(木) 18:15~19:45
講師 小浦久子(神戸芸術工科大学教授)

シニアサロン委員会・国際委員会共催 「生田神社・神戸八宮と国際都市 宗教施設」を巡る 12/7 CPD4単位

神戸生田神社と一宮神社から四宮神社(ヨノミヤ)と神戸国際都市施設のモスクと閻帝廟をゆっくりと歩き地域の隠れた魅力を発揮することの、醍醐味について、さまざまな視点から見学します。

日程 2019年12月7日(土)
時間 13:00~17:00
講師 加藤隆久(生田神社名誉宮司)
集合場所 12:30 JR三宮駅西口
定員 30名(申込先着順)
参加費 建築士会会員1,500円
一般2,000円
懇親会費 5,000円程度(三宮にて開催)

平成31年度文化遺産総合活用推進事業 「はじめよう、文化財の活用」 12/8、12/14、1/25、2/2、2/15

本講座は毎回異なる国の登録有形文化財を会場とした「まちあるき」や「ワークショップ」といった体験型の講座です。また其々の文化財所有者からは文化財の保存及び活用の取組事例や課題などを伺います。体験を通じての疑問や意見を所有者や講師との質疑応答で解決しながら文化財の活用を通じた保存活動ができる力を磨いていただきます。

- ①11/17(日)
 - ②12/8(日) 山田家住宅:
稲わらでつくる2Wayリース
 - ③12/14(土) 島本町立歴史文化資料館(旧麗天館):
大工の伝統技術「手刻み・墨付け」体験
心光寺:
書画・篆刻で観音廻り
 - ④1/25(土) 三木楽器本店ビル:
船場の中心で談話を叫ぶ
 - ⑤2/2(日) 願得寺:能にふれる
 - ⑥2/15(土) ※時間 ①~③・⑤~⑥:13:30~16:30
④:14:00~17:00
- 募集 各回24名(定員に達し次第締切)
参加費 各回1,500円

賛助委員会・地域委員会「北河内」共催 パナソニック モデルハウス・ミュージアム見学会 12/9 CPD3単位

「パナソニックミュージアム」は、創業者松下幸之助の志と、数々の製品や技術を生み出してきたパナソニックの“心”を未来に伝承したいという思いから開設されたミュージアムです。今回はパナソニックの木造耐震工法テクノストラクチャーのモデルハウスとミュージアムを見学いたします。

日時 12月9日(月) 13:15~17:00
見学 テクノストラクチャーモデルハウス
パナソニックミュージアム
集合場所 京阪電鉄 西三荘駅前
募集定員 約30名(申込先着順)
参加費 会員1,000円 会員外1,500円
(資料代等含む、懇親会費別)
解散後懇親会(参加費4,500円)を予定

第16回海外研修旅行 「建築から見たハワイの魅力を探る」 2/20~25 CPD23単位申請中

ハワイの歴史的建築や近代建築を視察します。また現地の日系事務所の方々と情報交換と交流をもつ予定です。

日程 2月20日(木)~25日(火)(4泊6日)
宿泊 アクアパシフィックモナークホテル
参加費 215,000円
※飛行機、ホテル、昼食2回と夕食1回は含む(但し、燃油量サーチャージ17,000円、施設利用料は別途必要。)
定員 20名
締切 12月10日(火)
コーディネーター 森田茂夫
(本会国際担当特任相談役)

事務局年末年始の休業

事務局は、12月28日(土)から1月5日(日)まで休業します。

Administration

行政からのお知らせ

健康・省エネ住宅 基調講演及びパネルディスカッション 12/7

医療、建築の専門家が健康を維持するためのポイントや工夫を紹介します。

日時 12月7日(土) 13:00~15:30
(受付12:30から)

会場 テクスピア大阪 小ホール
基調講演

講演1「シックハウス及び健康省エネ住宅命名者」からの提言
講師 上原裕之(健康・省エネ住宅を推進する国民会議理事長)

講演2「健康で省エネ・ゼロエネルギーとなる住まい」
講師 近本智行(立命館大学理工学部建築都市デザイン学科教授)

パネルディスカッション
「エコで健康に過ごせる住宅を考える」
【コーディネーター】
上原裕之(同上)

【パネリスト】
近本智行(同上)
徳岡浩二(大阪府建築士会理事)

三木隆己(泉大津市立病院高齢者医療センター長)
南出賢一(泉大津市長)

問合せ・申込 泉大津市都市政策部環境課
Tel.0725-33-1131

【パネリスト】
近本智行(同上)
徳岡浩二(大阪府建築士会理事)

三木隆己(泉大津市立病院高齢者医療センター長)
南出賢一(泉大津市長)

問合せ・申込 泉大津市都市政策部環境課
Tel.0725-33-1131

【パネリスト】
近本智行(同上)
徳岡浩二(大阪府建築士会理事)

三木隆己(泉大津市立病院高齢者医療センター長)
南出賢一(泉大津市長)

問合せ・申込 泉大津市都市政策部環境課
Tel.0725-33-1131

Others

その他のお知らせ

2019年度日本建築学会支部共通事業 「建築基礎構造設計指針」改定講習会(大阪開催) 12/17 CPD6単位

「建築基礎構造設計指針」の前回改定から18年が経過しました。本改定版は、前回改定から今日までの間に生じた建物の安全性や機能性に対する社会のニーズの多様化ならびに建築基礎構造・地盤に関する様々な学術・技術の進展を反映させたものです。今回の刊行を機会に、書籍に沿って内容をご

説明する講習会を開催します。

主催 (一社)日本建築学会
日時 12月17日(火) 10:00~17:00
会場 グランキューブ大阪 10階会議室
大阪市北区中之島5-3-51
参加費 本会会員15,000円(テキスト代含)
テキスト 「建築基礎構造設計指針」(第3版)
B5判、約500頁
※一般販売は最終会場終了後となります。
問合せ (一社)日本建築学会近畿支部
Tel.06-6443-0538

懐かしい堺の明治建築の幻燈上映会 12/21

建築は時代を雄弁に語る歴史の生き証人だと言われます。懐かしい歴史建築を見ながら古き時代の事を思い出してみたいと思います。

日時 12月21日(土) 11:00~
会場 堺市立東図書館(北野田駅前)
講師 柴田正己(明治建築研究会代表)
問合せ 090-4289-1492

講習会 プレストレストコンクリート造 建築物の保有水平耐力計算指針 (大阪開催) 2/6

高さ31mを超えるPC建築物では、保有水平耐力計算(ルート3b)が行われていますが、これに対応する指針がなかったため、このたび「プレストレストコンクリート造建築物の保有水平耐力計算指針(案)・同解説」が刊行されました。本指針(案)の大きな特徴として、①中地震を対象とした一次設計では損傷限界応力度による部材チェックを行う、②部材種別をPC梁や柱の実験データをもとに明確にした点が挙げられます。この刊行の機会に、本書の内容を解説する講習会を開催します。

主催 (一社)日本建築学会 構造委員会
プレストレストコンクリート構造運営委員会
日時 2月6日(木) 10:30~16:20
会場 大阪科学技術センター 4階401号室
大阪市西区靱本町1-8-4

定員 100名
参加費 本会会員14,000円(テキスト代含)
テキスト 「プレストレストコンクリート造建築物の保有水平耐力計算指針(案)・同解説」
B5判、約220頁
※一般販売は最終会場終了後となります。
問合せ (一社)日本建築学会近畿支部
Tel.06-6443-0538

Sponsorship

建築士会からのお知らせ

大阪府知事指定講習 既存木造住宅の耐震診断・改修講習会《一般診断法》 12/4 CPD5単位

本講習会修了者は、大阪府及び府内市町村の木造住宅耐震診断等の補助を受けることができます。技術者として名簿に掲載します。(本講習会は、国土交通大臣登録講習ではありません。)
日程 12月4日(水)
時間 10:00~15:50
会場 大阪府建築健康会館6階ホール
最寄駅 地下鉄「谷町四丁目」下車
定員 100名(定員に達し次第締切)
受講料 会員5,000円 会員外9,000円
テキスト代 7,200円(2012年改訂版木造住宅の耐震診断と補強方法)

大阪府知事指定講習 既存木造住宅の耐震診断・改修講習会《限界耐力計算法》 1/29 CPD6単位

既存木造建築物の限界耐力計算法による耐震診断は、一般診断法が建物の強度を評価するのに対して、建物の強度だけでなく、減衰性能も評価することができる診断法です。この機会に限界耐力計算法の技術を修得され、今後の業務に活用されますようご案内いたします。
日程 1月29日(水)
時間 9:30~16:00
会場 大阪府建築健康会館6階ホール
最寄駅 地下鉄「谷町四丁目」下車
定員 120名(定員に達し次第締切)
受講料 会員6,000円 会員外8,000円
テキスト代 4,000円(大阪府木造住宅の限界耐力計算による耐震診断・耐震改修に関する簡易計算マニュアル)

建設工事の安全・健康確保講習会 ~大阪府工事入札(実績申告型)の評価点追加対象講習会~ 12/13、2/12 各日CPD3単位

本講習会では、設計、施工等の各段階における安全・健康確保の措置や、建築労働者の意識向上を図る取組み方法について講習を行います。
労働災害防止に関する対策を推進することにより、建築労働者の安全と健康の確保を目的としております。ぜひ受講いただき、安全と健康の確保にお役にください。
日程 ①12月13日(金)
内容 各種届出書類と文書保存
疾病予防と公害防止、解体工事等
講師 山下一彦
(建設業労働災害防止協会)
松谷和也(株竹中工務店)

②2月12日(水)
内容 総合計画・仮設計画のポイント
杭打、鉄骨工事の安全対策等
講師 山下一彦
(建設業労働災害防止協会)
廣瀬淳司(大日本土木株)
時間 13:30~17:05
会場 大阪府建築士会会講室
定員 60名(定員に達し次第締切)
受講料 建築士会会員3,000円/回
後援団体会員4,000円/回
一般5,000円/回

令和元年度監理技術者講習 (監理技術者以外の方も受講可能) 1/23、2/7、3/4 CPD各6単位

建設業法に基づく法定講習です。
建築に特化したテキストを使用し、実務に役立つ情報を提供いたします。なお、監理技術者以外の建築士や技術者の方も受講が可能です。
日程 1/23(木)、2/7(金)、3/4(水)
時間 8:55~17:00
会場 大阪府建築士会会講室
定員 各回30名(定員に達し次第締切)
受講料 WEB申込み9,500円
郵送申込み10,000円
申込 日本建築士会連合会HPよりお申込みください。

被災建築物の応急危険度判定(養成)講習会 12/16、2/19 CPD各3単位

地震等により被災した建築物の余震等による倒壊、部材の落下等から生じる二次災害を防止するため、被災建築物の応急危険度判定を行う判定士を養成する講習会です。建築士であれば本講習修了により取得できますので、ぜひ本講習会を修了のうえ判定士にご登録ください。
日程 12月16日(月)、2月19日(水)
時間 受付12:30~、講習13:20~17:00
会場 大阪府建築健康会館6階ホール
定員 各150名(定員に達し次第締切)
対象者 大阪府内在住または在勤の一級・二級・木造建築士
並びに建築基準適合判定資格者及び特定建築物調査員
テキスト代 1,500円(受講料は無料)
申込 大阪建築防災センターHP参照
https://www.okbc.or.jp/course/2979/

令和元年度建築士定期講習 1/30、2/25、3/26、3/31 CPD各6単位

建築士法の規定により、建築士事務所所属するすべての建築士は3年以内ごとに定期講習を受講しなければなりません。本年度は平成28年度に本講習を受講された方や、建築士試験に合格された方が対象となります。未受講者は懲戒処分の対象となりますので必ず年度内に受講してください。
日程・会場・定員

1/30(木) 大阪府建築健康会館 90名
※2/25(火) 大阪YMCA会館 200名
3/26(木) 大阪YMCA会館 200名
3/31(火) 大阪府建築健康会館 90名
時間 9:15~17:00(各講習日共)
受講料 12,960円(消費税含。事前振込)
申込書配布場所
大阪府建築士会及び大阪府建築士事務所協会事務局又は、建築技術教育普及センターHPからダウンロード(平成28年度受講者には、直接申込書を郵送しています。)
申込方法
上記事務局へ持参又は簡易書留による郵送受付場所(送付場所)
※印の日程 大阪府建築士会事務局
※印以外の日程 大阪府建築士事務所協会事務局
建築技術教育普及センターHPからWEB申込みも可能です。

令和元年度改正建築物省エネ法説明会及び住宅省エネ技術講習会 12/19、1/22 CPD各3単位(予定)

令和元年5月17日に公布された改正建築物省エネ法について解説します。主に戸建住宅・小規模非住宅の関連事業者向けの内容となっています。
説明会の内容
1. 改正法に盛り込まれた各措置の内容とポイント
2. 小規模住宅・小規模非住宅に係る省エネ基準・省エネ計算方法について
3. 住宅省エネ技術講習
日程 ①12月19日(木) ②1月22日(水)
時間 13:30~16:45(各回共)
会場 ①サンスクエア堺
(堺市立勤労者総合福祉センター)
堺市堺区田出井町2-1
②大阪国際交流センター
大阪市天王寺区上本町8-2-6
定員 ①350名
②800名(定員に達し次第締切)
受講料 無料
※修了証(賞状タイプのみ)を希望する方は発行手数料として1,000円が必要です。
申込方法 専用のWEBからお申し込みください。
https://www.shoene.org/index.html

建築技術講習会 建築紛争における法的措置とその対応策 12/6 CPD3単位(予定)

近年、建築紛争は多様化し、行政不服審査請求や訴訟など法的措置に発展する事例も少なくありません。今年度も大阪地方裁判所裁判官と大阪府建築審査会委員の学識者を講師に迎え、建築紛争における法的措置とその対応策について、講演会を開催します。昨年までのアンケートを踏まえ、実例に役立つ事例をできるだけ多く紹介する予定です。
日時 12月6日(金) 14:00~17:00
会場 大阪府建築健康会館 6階ホール
講師 海道俊明(大阪府建築審査会委員)
鈴木 喬(大阪地方裁判所判事)

定員 120名(定員に達し次第締切)
受講料 建築士会会員3,000円
後援団体会員4,000円
一般5,000円

建築技術講習会 見たくないことを見て 必ずくる南海トラフ地震を乗り越える 12/10 CPD3単位

平成の30年間は、昭和後半の30年間に比べ、西日本で地震による被害を多く経験しました。今後30年間の地震発生確率が70%~80%と言われる南海トラフ地震の準備過程とも言えます。日本の歴史形成と南海トラフ地震との関係、相互依存度の高い高機能化した社会問題などを通し、南海トラフ地震の被害像をあぶり出し、今後の対策のあり方について考えます。
日時 12月10日(火) 13:25~16:30
会場 大阪府建築健康会館 6階ホール
講師 福和伸夫(名古屋大学減災連携研究センター教授)
定員 120名(定員に達し次第締切)
受講料 建築士会会員3,500円
後援団体会員4,500円
一般5,500円

大阪府ヘリテージマネージャースキルアップ講座 岩湧山茅場 茅刈ミニ体験 重要文化財左近家住宅茅降ろし体験と修理見学会 1/12

●岩湧山茅場 茅刈ミニ体験
岩湧山山頂の茅場にて茅刈を体験します。
日時 1月12日(日) 9:00~12:00
集合時間 8:30
集合場所 滝畑コミュニティセンター駐車場
定員 30名(小学5年生以上)
●重要文化財左近家住宅 茅降ろし体験と修理見学会
重要文化財である茅葺民家の茅降ろしを体験します。
日時 1月12日(日) 13:30~16:00
集合時間 13:00
集合場所 滝畑コミュニティセンター駐車場
定員 50名(小学5年生以上)
資料代 1,000円(午前午後共通)
※午前午後いずれか一方の参加も可

国土交通省補助事業 家を売るとき買うときの住まいの健康診断セミナー 1/28

住まいの健康診断である「建物状況調査」が法律で位置づけられました。本セミナーでは、弁護士・建築士・宅建士・保険取扱者が、安心して既存(中古)住宅の売買をするためのヒントをお伝えします。一般消費者の方を対象としたセミナーですが、どなたでもご参加いただけます。
日時 1月28日(火) 14:00~16:00
(開場13:30)

動静レポート

会長動静

- 10/23 柏原市長、八尾市長面談
- 10/28～31 日中韓建築士会定例協議
- 11/ 5 大阪府採用委員会
- 11/12 島本町長面談
- 11/15 四條畷市副市長面談
運営部門会議
- 11/18 大阪府採用委員会
茨木市長面談
- 11/20 消費者関係団体意見交換会
理事会、正副会長会議
- 11/21 大東市長、堺市建築都市局長面談
- 11/22～26 ホーチミン建築士会と協定協議



右～上田副会長、辻野地域代表幹事、
富宅正浩柏原市長、岡本会長、杉原専務理事



(右)
大松桂右
八尾市長



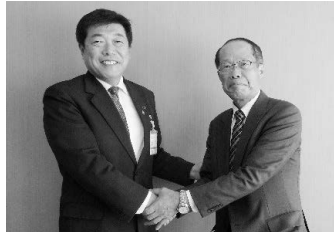
(右)
山田紘平
島本町長



(右)
林 真理
四條畷市
副市長



(左)
福岡洋一
茨木市長



(左)
東坂浩一
大東市長

運営部門

消費者関係団体との意見交換会を開催

平成 25 年から毎年実施して第 7 回を迎える消費者関係団体との意見交換会を 11 月 20 日に行いました。

お招きした消費者関係団体は、関西消費者連合会、消費者情報ネット、全国消費者生活相談員協会、日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会の 4 団体の代表者 5 名です。

本会からは正副会長及び関係部門長の役員 8 名が出席し、本会の消費者に対する建築相談の状況や、昨年大阪北部地震と台風 21 号の被害に関する被災支援活動の紹介、住宅福祉ディティールマニュアルの作成進捗状況などを説明しました。また、既存住宅売買時の建物状況調査及び瑕疵保険の活用並びに 1/28 の消費者向けセミナーの開催を、広く消費者に周知していただくよう協力をお願いしました。



消費者関係団体の皆様

運営部門

本会副会長の田中義久氏が黄綬褒章を受章

本会副会長の田中義久氏（㈱田中都市建築事務所代表取締役）が 11 月 3 日に黄綬褒章を受章されました。

氏は 40 年に亘り建築設計業務に精励すると共に、昭和 58 年に本会に入会され、その後 27 年間本会役員として建築業界発展に寄与された功績が評価されました。氏は、昭和 60 年から青年委員会活動に従事され、平成 6 年に青年委員長、平成

8 年に日本建築士会連合会青年委員長として、青年層の活動拡大に尽力されました。また、平成 24 年から本会の副会長に就任され、社会貢献活動等を通して会勢拡大のために重要な役割を果たされるなど、本会活動の中で重職を担うと共に大きな功績を残されています。

表彰部門

「大阪まちなみ賞」最終審査を実施

本会が主催事務局を務める第 39 回大阪都市景観建築賞（愛称：大阪まちなみ賞）には、府民から 106 件の推薦がありました。10 月 7 日に久審査委員長（近畿大学教授）他 7 名で構成する審査委員会による書類審査を行い選出した 10 作品を対象に、11 月 21 日の現地審査及び最終審査において、大阪府知事賞、大阪市長賞、審査員特別賞、緑化賞、建築サイン・アート賞の各 1 作品、奨励賞 5 作品を選定しました。入賞作品は、12 月中旬にプレス発表を行う予定です。

研修部門

監理技術者の出張講習先企業を募集

本会では平成 27 年度より建設業法に基づく「監理技術者講習」を実施しており、現在、講師が建設会社に出向いて講習会を行う出張講習を希望される企業を募集しております。

本会の同講習テキストは、他の実施団体に比べ、土木技術の説明を除外して建築技術に特化したテキストとしております。その内容は最新技術の紹介、業務別の関連法制度の解説、トラブル事例の紹介等豊富で多様な内容構成としており、建築施工系技術社員の技術向上に役立つ内容との評価をいただいております。

企業における受講者管理の容易さ、講習料金の割引などのメリットがある出張講習は、現在、在阪数社の大手建設会社に採用していただき実施しております。出張講習は 10 名程度以上の受講者があれば可能ですので、会員建設企業におかれましても、採用のご検討をいただきますようご案内申し上げます。

追手門学院大学新キャンパス完成見学会

日程：令和元年10月11日（金） 会場：追手門大学茨木総持寺キャンパス 参加者：63名

佐賀弥章（理事・インスペクション委員会委員長）



地域委員会の「大阪市北」は、2016年度に発足した地域サークルで、大阪市の北区、淀川区、東淀川区、都島区、旭区に「居住または勤務」している建築士协会会员により構成されています。

定例会として、委員及び会員の一部が月1回会合を行い、企画運営を進め、美味しいものを探して街に繰り出します。

そのような地域サークルとJIA近畿支部大阪地域会が共催で、標記の見学会を開催いたしましたので、ご報告いたします。追手門学院大学新キャンパスは阪急京都線総持寺駅から、徒歩15分程度の場所にあります。4月に開校し、同大学の1年生、地域創造学部、国際教養学部と中学校・高等学校が移転しており、若さあふれるイメージです。ここで確認させていただくことが一つ。タイトルにある「追手門学院」をどのように読みましたか？

「おつてもん学院」とは読まないで下さい。「おうてもん学院」が正解です。

大学エリアの設計者である株式会社三菱地所設計・須部恭浩氏案内の元、前後半2グループに分かれての見学会となりました。

最初に、須部氏より設計主旨等説明があり、30人で学内に。何分、講義中の大学校舎であり、静かに大人しく見学が進みます。外観もそうですが、内部も三角形を基調とした空間が広がり、中央の図書館を囲む4層吹き抜けには目を見張るものがあり、見学者は、学内の細部の確認に足を止めがちで、歩みの遅い見学会でした。このキャンパスの特徴は多々あるのですが、そのひとつに「塀がない」ことが挙げられます。周囲とのバリアーを取り払い、地域に向けて開放されたキャンパスは、地域の町並みまでを借景としてより

広く感じられます。昨今、閉じられた学校も多い中、ここまで開放された学校も珍しいかと思われれます。

追手門学院様及び三菱地所設計様のご協力で、工事中・完成後の2度にわたる見学会も盛会に終了することができました。最後に、冒頭の大阪市北地域にお住まい又は勤務の会員の方、同じ「大阪市北」地域のお仲間になることをお待ちしております。



新キャンパス大学校舎

世界文化遺産「百舌鳥・古市古墳群」ツアー

日程：令和元年10月26日（土） 場所：堺市、羽曳野市、藤井寺市 参加者：54名

堺市・羽曳野市・藤井寺市に跨る世界文化遺産「百舌鳥・古市古墳群」ツアーを大阪府、百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議、堺市、羽曳野市、藤井寺市の後援と堺観光コンベンション協会の助成を受けて行いました。南海高野線堺東駅（堺市役所）集合班と近畿日本鉄道南大阪線土師ノ里駅集合班が合流し、鍋塚古墳、仲姫命陵古墳、古室山古墳、応神天皇陵古墳拝所、河内こんだハニワの里、誉田八幡宮、料亭梅廬屋、仁徳天皇陵古墳拝所、堺市博物館VR体験、ショップもず庵、堺市役所展望ロビー眺望など、1万数千歩のウォークとバス移動でした。藤井寺市観光ボランティアの会の小野さん、吉田さん、堺観光ボランティア協会の川上さん、木村さんの広い知識と巧みな話術による案内、堺市立中央図書館の司書で百舌鳥駅から古市駅を定期通勤の阪倉さんの古墳関連

書籍の紹介により、少し疲れましたが古墳が実感でき、歴史文化を学び、古代に思いを寄せる健康的で充実した楽しい1日でした。参加者アンケート結果（回収数：37）では、職種は設計・施工監理が約7割でそれ以外が約3割、主な意見は「ガイドして頂いたのがとても良かった」「ウォーキングしながらで良かった」「1日で古墳の知識が増した」「充実した内容で満足です」「しんどかった」などでした。本事業にあたって大阪府文化財保護課の福田さんを講師に迎え、委員30名で「百舌鳥・古市古墳群」の事前勉強を行いました。また、11月18日（月）には「歴史文化を活かしたまちづくり講座～古墳をはじめ歴史文化のある街の建築やまちのデザインの探求に向けて～」を堺市都市景観室の福知さん、文化財課の小林さんを講師に迎え、古墳群周辺地域の景観形成、歴史的風致維持向上計画

北野哲也（地域委員会委員）



の講座を参加者約30名で行いました。「百舌鳥・古市古墳群」は大阪府唯一の世界文化遺産です。建築やまちに関わる建築士が様々な分野の方と連携し、建築からのソーシャルデザインの探求に向けた活動を行い、歴史文化を活かしたまちづくりに繋げていきたいと思います。



登れる古室山古墳

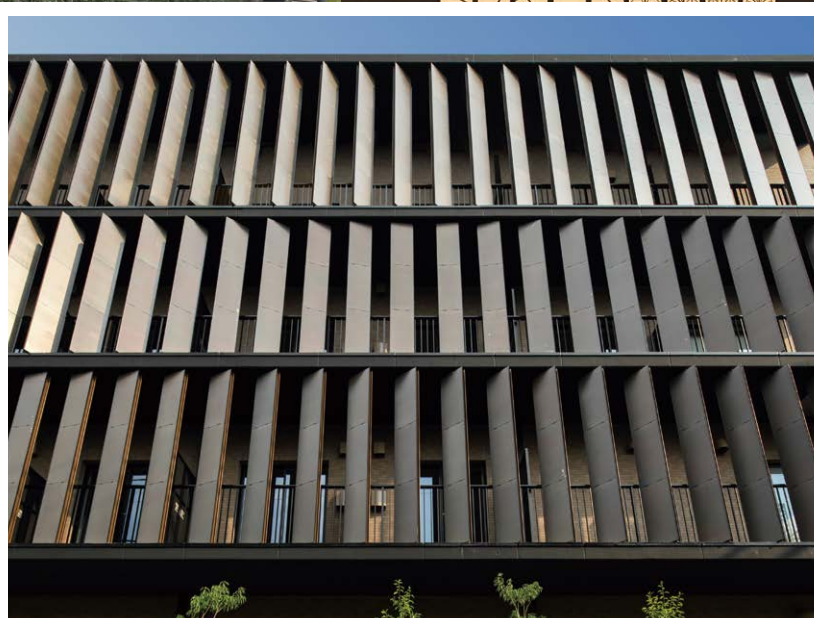
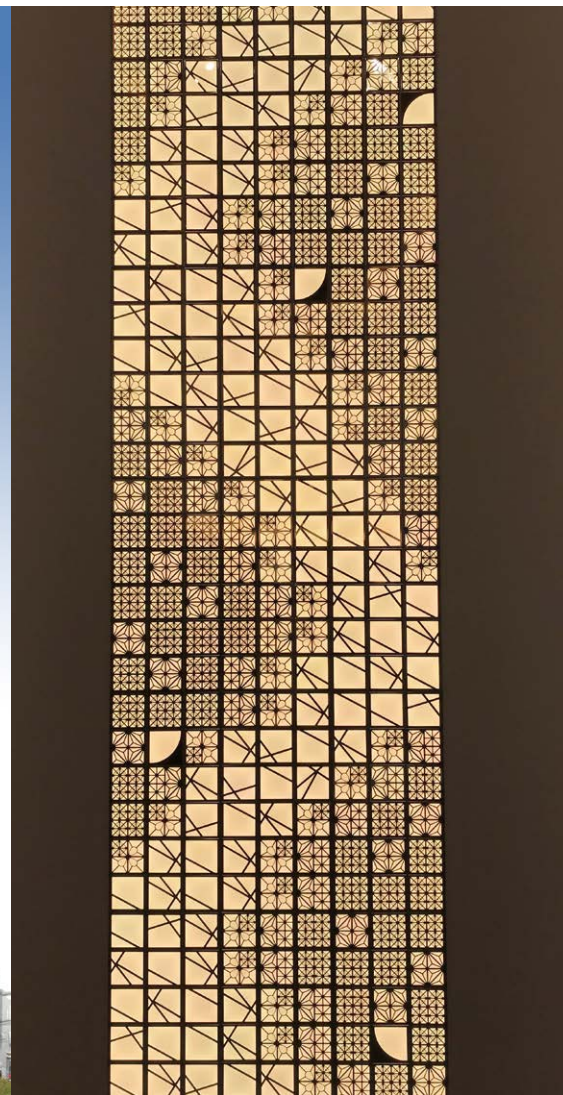


仁徳天皇陵古墳拝所にて記念撮影



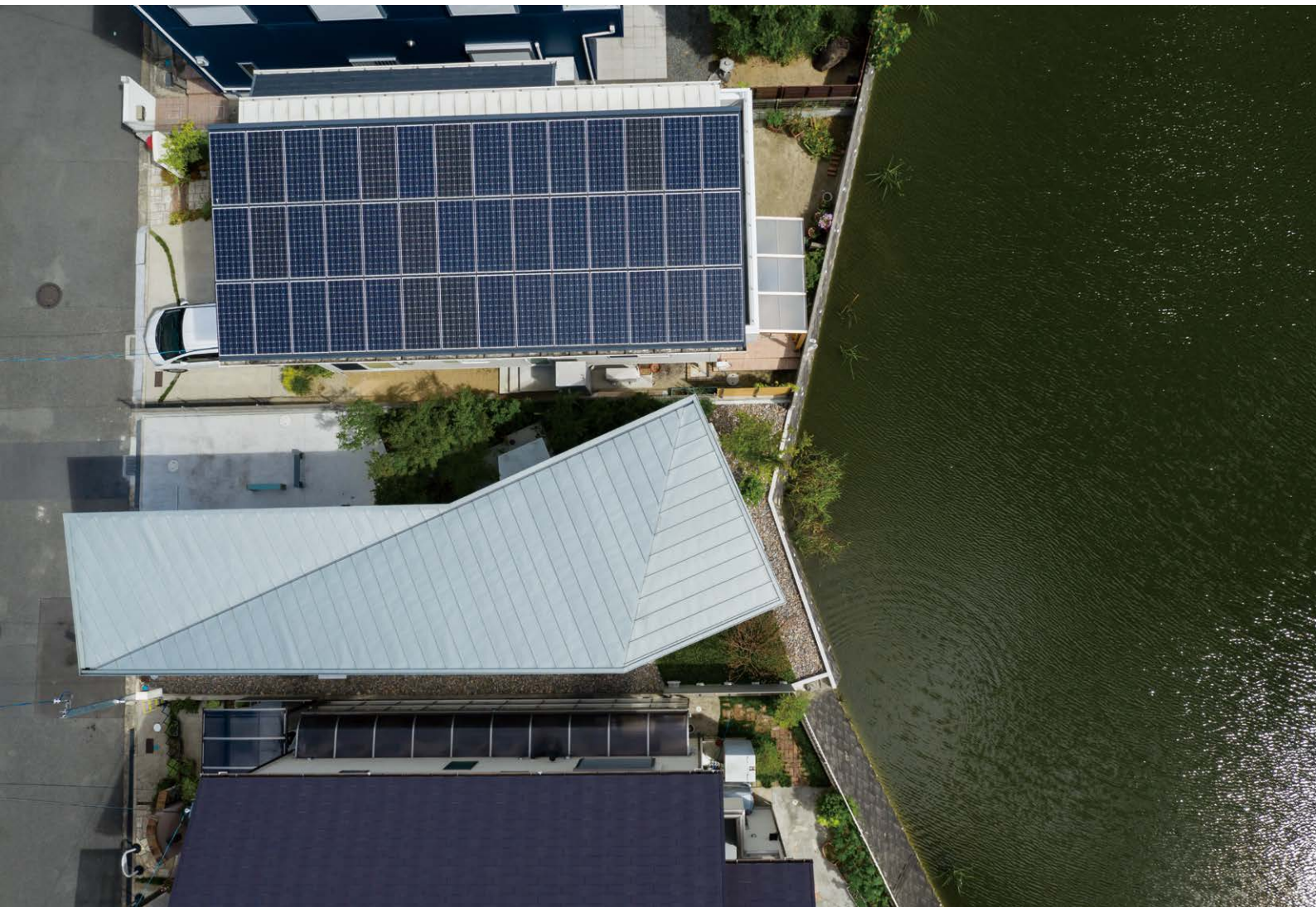
京都駅から徒歩で近い大通りに宿泊特化型ホテルを計画した。西側のマンションと客室が向かい合うことのないよう一辺の客室が中庭に面する口の字型の平面計画とし、1階において中庭と前面道路をつなぐピロティが、ゲストを市中から非日常へといざなうアプローチを構成する。敷地形状を生かして外周に設けた2つの坪庭とあわせ、共用部からは光と風に移ろう複数の庭を眺め、古くから京都のまちの暮らしがそうであったように、都市の中に居ながら四季折々の小さな自然を感じることができる。このホテルで過ごす時間がこの街に息づく文化と歴史とともにあり、ゲストをもてなすことを意図した。(永井 務・奥村崇芳)

所在地：京都府京都市
用途：ホテル
竣工：2019.03
構造規模：S造 10階
敷地面積：1,166.81㎡
建築面積：851.93㎡
延床面積：7,474.13㎡
写真：野口兼史



兵庫・芦屋の景観地域に建つ研修所の増築計画。カネカの企業理念である「人と、技術の融合」を具現化するため、自社製品や技術を建築全体に採用し、新たな建築表現とした。東面外壁及び北・南面ルーバーに防眩型太陽光パネル、ガラス部にシースルー型太陽光ガラスを用いるほか、共用部の照明を有機EL（OLED）のKUMIKO照明や間接照明で設えるなど、企業の技術力を内外に表出すると共に、今後の新たな都市景観への挑戦を行った。

所在地：兵庫県芦屋市
 用途：寄宿舎
 竣工：2019.06
 構造規模：RC造
 敷地面積：2,972.31㎡
 建築面積：1,539.90㎡
 延床面積：4,250.64㎡
 写真：SS大阪
 左海一郎
 （一部 当社 高岩遊）



子供の手が離れた夫婦二人の家。大阪市近郊の閑静な住宅街に位置し、東側は調整池に面している。この家は二つの個室のグリッドから展開したワンルームである。それぞれ二つの個室には庭があり、外部にもアプローチできる。スキップした床、2つの階段と、への字の平面によって構成された2層の空間は大きなワンルームとなり、二人はその時の気分によって距離感を選べるようになっている。池に面した大きな窓に面して陣取るもよし、趣味のガレージルーム、半地下のアトリエに閉じこもるもよし、個人との距離感、外部との距離感を模索しながら過ごす家である。

所在地：大阪府大阪狭山市
 用途：専用住宅
 竣工：2018.12
 構造規模：鉄骨造
 地上2階
 敷地面積：141.87㎡
 建築面積：61.45㎡
 延床面積：97.91㎡
 写真：小川重雄写真事務所

今年四月、講演依頼を受けて久方ぶりに前川國男の遺作の一つである新潟市美術館（一九八三年）を再訪した。その翌日に同館学芸員の藤井素彦氏に案内されて初めて見学する機会を得たのが、佐藤武夫（一九九〇〜一九七二年）設計の新潟県民会館である。不勉強にもその存在を全く知らなかった。訪れてみて、隅々まで丁寧にデザインされた格調の高さに感銘を受けたのだが、そこには次のような建設の経緯があった。

一九六四年六月十六日に新潟を襲ったマグニチュード七・五、震度五の地震は、軟弱地盤の液化化による甚大な被害を与えた。中でも、テレビで報道された県営アパートが大きく傾いた衝撃的な映像は、その後も液化化の恐ろしさを伝えるために繰り返し紹介されていく。公開資料によれば、当時の塚田十一郎知事は、震災からわずか二ヶ月後の八月二十五日に、「見舞金で新潟市に震災復興記念・新潟県民会館（仮称）を建設したい」と構想を発表する。これを受けて、詳しい経緯は不明だが、一九六五年に四社による指名競技設計が実施され、一等に選ばれた佐藤武夫設計事務所案によって建設されて一九六七年十一月に竣工したのが、大小ホールと展示室、会議室などを備えた延床面積約一万二千㎡のこの会館である。総工費約八億円のうち三億円が全国から寄せられた義援金で賄われたという。

敷地は、信濃川沿いの市立野球場跡地で、周囲には、新潟市体育館（一九六一年、設計／宮川英二・加藤渉）や屋外競技場などがある。東側には後の一九九八年に、コンサートホール、劇場、能楽堂を有する立派な市の文化施設、長谷川逸子（一九四一年〜）設計の新潟市民芸術文化会館（りゅうとびあ）が竣工する。しかし、そのような

好適地にもかかわらず、河川敷の埋立地で地質上は最不適地であった。そのため、構造家の内藤多伸（一八八六〜一九七〇年）の協力を得て、不安定な砂質土の流失を防ぐ対策を施し、平面計画上も建物の荷重が平衡するような形式が採用される。こうして、正方形平面の右半分は大ホール、左半分に小ホール、展示室、会議室と事務室、楽屋などの諸室を収める整然とした造形が目指されていく。

印象的なのは、骨太なコンクリート打放

記憶の建築

松隈 洋

新潟県民会館 1967年 震災復興の記念碑的建築



北西側から見る建物外観



大ホール・ホワイエの外壁詳細

ビーの空間は、外壁のモザイク状のブロックから注ぐ自然光に包まれて、どこかゴシック聖堂のような荘厳な雰囲気がある。さらに、ロビーに置かれた上質な革張りのステレンス製のソファや階段の手すりも、硬質で洗練されたデザインでまとめられ、上品で確かな安定感を生み出している。そして、芸術家との共同も各所に試みられており、地元出身のグラフィック・デザイナーの亀倉雄策（一九一五〜一九七七年）が第二織帳のデザインを手がけるなど、建物全体が

しの柱と上下の見切り壁、頂部に廻らされた大庇に囲まれた厳格な立方体の外壁全体を覆うモザイク状のプレキャスト・コンクリート・ブロックが醸し出す外観の表情の繊細さである。一方、内部の県民ホールやホワイエ、大ホール客席の側壁にも、現代の建物ではほとんど見かけなくなった職人の手作業によるリブ入りのコンクリートは

つり仕上げの味わい深いテクスチャーが施されており、見る者を圧倒する。また、大ホールのホワイエと大階段のあるサンクロ

高い質を獲得している。そこには、義援金の援助にも支えられ、震災復興として取り組まれた人々の思いが込められていたのだろう。竣工後も大規模改修や耐震補強工事が施され、当時の面影を残しながら、今も現役で大切に使われている。

佐藤武夫は、早稲田大学教授で建築科の創設者である佐藤功一（一八七八〜一九四一年）に見出され、同学の卒業と同時に助教授となり、彼の下で、早稲田大学大隈講堂（一九二七年）の設計を手がけるなど、

草創期の早稲田大学の建築教育に尽力した建築家だった。また、大隈講堂の経緯が活かされたのだろう。この新潟県民会館の他に、防府市公会堂（一九六〇年）、長野市民会館（一九六一年）、岡山市民会館（一九六三年）、江東公会堂（一九六五年）、熊本市民会館（一九六八年）、岩手県民会館（一九七三年）など、全国各地に数多くの劇場や公会堂を手がけている。さらに、日本建築学会賞を受賞した旭川市庁舎（一九五八年）の他に、新潟市庁舎（一九五八年）、燕市庁舎（一九六二年）、大津市庁舎（一九六七年）、東京都中央区庁舎（一九六九年）など、庁舎建築にも大きな足跡を残した。

そして、同年齢で意気も通じたのか、東京帝国大学教授の岸田日出刀（一九九九〜一九六六年）と若い頃から親交があり、彼と共に、大連市公会堂コンペ（一九三八年）で前川國男案を一等に選び、在盤谷日本文化会館コンペ（一九四三年）でも前川案を高く評価するなど、岸田と志を共有していたことが読み取れる。その証拠に、岸田は、『佐藤武夫作品集』（相模書房一九六三年）に寄せた「正道のリーダーシップをとる建築家」と題された文章の中で、佐藤の建築は、「豊かな落付いた滋味で、その全体から部分までのすべてが、おだやかに温かくつまれている」と記し、共感の言葉を記していた。また、佐藤は、執筆活動も精神的で著書も多く、『ドイツの造形文化』（育生社一九四一年）の装丁を亀倉雄策が手がけるなど、幅広い人脈にも恵まれていた。今こそ佐藤武夫の仕事の検証と再評価が求められていると思う。

松隈 洋

京都工芸繊維大学教授、博士（工学）。一九五七年兵庫県生まれ。一九八〇年京都大学卒業後、前川國男建築設計事務所に入所。二〇〇八年十月より現職。

第12回 建築人賞

主催：公益社団法人 大阪府建築士会

公益社団法人大阪府建築士会では
本誌「建築人」の Gallery に掲載された建築作品を対象に
社会性、芸術性、時代性を考慮して、顕彰、公表することにより
建築技術の進展、建築文化の向上に資することを目的として
建築人賞を実施しています。

■ 審査委員長 乾 久美子



1969 大阪府生まれ
1992 東京藝術大学美術学部建築科卒業
1996 イェール大学大学院建築学部修了
1996～2000 青木淳建築計画事務所勤務
2000 乾久美子建築設計事務所設立
2000～2001 東京藝術大学美術学部建築科常勤助手
2011～2016 東京藝術大学美術学部建築科准教授
2016～ 横浜国立大学大学院Y-GSA教授

■ 表彰（設計者に対して）

建築人賞（賞状と記念盾）

建築人賞奨励賞（賞状）

※建築主・施工者には賞状授与

■ 第12回 対象作品

「建築人」2019年1月号から2019年12月号まで
Gallery に掲載された建築作品

※建築種別、建築地を問わない。但し、竣工検査済証を受けたもの

■ 受賞発表

建築人 2020年7月号誌面（予定）

■ 問い合わせ

公益社団法人大阪府建築士会「建築人賞」係
担当／母倉 政美

TEL 06-6947-1961 FAX 06-6943-7103



建築人賞 記念盾 「未来へ！」

ガラスアーティスト 三浦啓子作

『建築人』 Gallery 掲載作品 募集中 2019

会報誌「建築人」では、Gallery に掲載する作品を
募集しています。

【掲載料】

カラー 2ページ 20万円

カラー 1ページ 10万円

詳しくは、公益社団法人大阪府建築士会「建築人」
Gallery 建築作品掲載係まで。

ユーザー対象の設計相談
住宅の設計者問い合わせ
に対応する

登録者募集

(公社)大阪府建築士会 社会貢献部門 “住宅を設計する仲間達” 委員会

登録者の個人ページ・・・専用のホームページ内に作成可
建築士リスト・・・数カ所の機関に配架し、広報活動を展開
設計相談・設計例展示・・・大阪市立住まい情報センター等

専用ホームページ www.jutaku-nakama.com/
登録・問合せは (公社)大阪府建築士会 隅原まで
06-6947-1961 info@aba-osakafu.or.jp

住宅を設計する仲間達 建築士 リスト 2018-19

家づくりの

『住宅
大阪府
が得意な建
あなたにピッ
お問い合わせく

- 公財団法人 大阪府建築士会
JUTAKU NAKAMA COM
住宅を設計する仲間達
- トップページ
 - 住宅を設計する仲間達とは
 - 建築士に任せるメリット
 - 具体的な流れ
 - まんが～家作りストーリー～
 - 土地の選び方
 - 住宅ローンについて
 - 建築士を探す



「希望の建築士」に相談することが、「理想の住まいづくり」への最短距離。「この人」と思える建築士に無料でご相談ください。

好きな建築
住宅設計
下記にて定
(公社)

建築士に任せるメリットは何?

ホームページの抜粋版です

お知らせ

- パネル展示&セミナー@住まい 3月6日
- 建築家とつくる
- パネル展示
- 建築家とつくる
- パネル展示&セミ



家づくりは、頼る建築士選びから。

「住宅を設計する仲間達」は、住宅を設計するプロ(建築士 建築設計事務所)の集まりです。3,000人が在籍する公益社団法人大阪府建築士会は、住宅一歩の先、設計事務所などの建築士会費の負担軽減を目的に、平成8年に「住宅設計する仲間達」を設立しました。

に対して、たくさんの思いをお持ちの方こそ 歓迎します。自費負担の軽減を目的に、平成8年に「住宅設計する仲間達」を設立しました。生活は自分達でつくっていく。住まい手であると同時に、つくり手を求めることを目的に、平成8年に「住宅設計する仲間達」を設立しました。そんな住まい手の住宅づくりのお手伝いのできたらと考えます。住宅設計する仲間達」を設立しました。思いを創り上げていくプロセスをいっしょに楽しみたい。

自然と住まいがやさしく調和することを心がけています。風や光に季節を感じ、家族の一人ひとりにとって心地よく癒される住まいを“粋でおしゃれに”デザインさせていただきます。吟味した杉で体がよくなる空気をつくり、子どもから大人まで 脳を元気に健康で安全で安心して暮らせる家を丁寧につくらせて頂きます。



マイホームを建てるなら、なんでもご相談ください

当サイトでは、作品集や住宅設計の無料相談などのご案内をさせていただきます。建築士会費の負担軽減を目的に、平成8年に「住宅設計する仲間達」を設立しました。このことから家づくりの方、家づくりについては、ぜひ私たちにご相談ください。



06-6927-1051
06 6927 1052
e-mail p-office-y@estate.ocn.ne.jp

理事会報告

文責 本会事務局

日時 十一月二十日(水) 十六時〜十八時

場所 本会会議室

出席 理事三名 監事二名

(1) 一〇月の当期経常増減額は、収入五、九三三、九三五円、支出九、七五二、四七一円、差引△三、八一八、五三六円で、本年度累計の収支差引一七、二六五、二一七円を報告して承認しました。

(2) クレジットカード決済等の導入について、社会的信用のあるデータ管理や金融機関の会社傘下であるペイジェント(決済代行会社)をモデルに、費用・仕組み・実務等に係る進捗をもとに検討しました。

カード決済に掛かる手数料等の費用は三%程度で対処可能な範囲ですが、本会ホームページ申込みのシステムの改修が必要であり、現在見積り中です。個人情報管理やセキュリティには十分配慮することとし、早期実現を目指して事務の効率化を図る基本的な方針を承認し、事業対応を急ぎ、経過をみて会費対応にも拡大する方向としました。

(3) 二〇二〇年近畿建築祭「大阪大会」準備について、事業部門における標記行事実行委員会での報告をもとに検討しました。

開催日 二〇二〇年一〇月一七日(土)

会場 大阪工業大学梅田キャンパス

テーマ OIT梅田タワー常翔ホール

過去から未来へ

近畿の強みを活かした価値の共創右記項目を承認し、同時に重要なセレモニーとして近畿建築士会協議会による二〇二五年大阪・関西万博に向けた決議を行うこととしました。

建築相談室から四十四

一般の相談者以外の相談 二

文 橋本頼幸

先月に引き続き全相談件数の約七分の一にあたる一般の相談者以外の相談のなかから不動産業者と消費者センターからの相談をご紹介します。

不動産業者の相談 一

不動産業者が管理する物件の長屋の屋根が、台風で吹き飛んだとのこと。施工会社は手配をして工事中であるが、屋根修繕方法についてその不動産業者から施工業者に伝えるものの、施工業者は指示通り対応してくれない。施工方法に問題がないか聞いてほしいという相談です。相談記録には、施工方法について聞き取ったことが詳細に記載されており、担当者の見解としては問題ないと思われるので、粘り強く説明するしかないのでは、と記載されていました。

不動産業者の相談 二

同じく不動産業者からの相談で、おそらく売建物(土地を購入してから建物を建てる)において建築中に購入者から基礎鉄筋のさびが心配だといわれた。問題ないと言いたい、との相談。その物件には設計者があり、設計者は不動産業者からの発注なので、設計者に相談されることがいいとのアドバイスをしていました。

不動産業者の相談 三

売建住宅ではこんな相談も。窓上垂れ壁の有効が20cmしかなく一般タイプのエアコンが取り付けることができない。設計ミスではないかと客からクレームを言われた。打合せは不動産業者と工務店で行った。エアコンの設置位置についてどのような打合せが行われたかは不明だが、一方的に設計者が悪いとはいえないのではないかと、という担当者の見解を伝えています。

不動産業者の相談 四

集合住宅の五階建ての上に増築された六階部分があり、その六階部分を民泊にしたいと思っている。どうすればいいのか?との相談。不動産業者は、消防署に先に聞きに行つて自分でできずに困つて電話をしてきたようですが、そもそもその増築部分は違法で使えないように思われます。

消費者センター相談員からの相談 一

消費者センターの方が相談者の目の前で電話を掛けてこられることがあります。築四〇年の四階建て賃貸マンションの一階にすんでおられる賃借人の相談を受けた消費者センターの相談員からの相談です。過去に二回排水不良があり、賃借人の負担で管内清掃をしている。そのときに砂などが出てきて、何らかの不具合が発生していることがわかっていて、建物所有者は全く対応しない上に、間接的に退去を求められている、という相談。現地相談に行くとしても誰が費用負担するのかという問題が発生します。本来は建物所有者であり、賃借人が負担するものではありません。また仮に現地相談で問題が明らかになったとしても、それだけで解決できる問題ではありません。消費者センターの相談員も困つて電話されたのですが、建築技術的な問題の前に整理しないといけないことが多い相談で、一旦建物所有者と話す場を設けるようにとアドバイスしています。

消費者センター相談員からの相談 二

同じく消費者センターの相談員から。不動産業者より五年前に新築住宅を購入された方から、「階段の手すり外れたので販売した不動産業者に聞いたところ、経年劣化と言われた。」とのこと。そんなことはあるのかという相談。一般的には経年劣化は考えにくいと伝えたいようです。

編集後記

橋本頼幸

令和元年が終わろうとしています。「令和」という言葉も使われていくうちになれてきます。そして今年は消費税率も八%から十%に変わりました。こちらもぼちぼち慣れてきた頃かなあという感じです。人間というのは様々なモノに慣れていきます。

「順応」とも言われますが、順応と聞いて思い浮かんだのが、視環境の「明順応」「暗順応」です。暗い場所から明るい場所が目が慣れていく「明順応」に対して、その逆が「暗順応」です。一般に人の目は「明順応」に比べて「暗順応」の方が、時間がかかると言われていきます。私は時間をかけて暗闇に目が慣れてきてモノが見えるようになってくる暗順応状態が好きです。時間をかけるからこそ見えるモノがあるのでないかと思えます。何事にもゆっくり時間をかけて取り組めるようになったらいいなあと暗闇で夢を見る毎日です。

建築人 12 2019









監修	公益社団法人大阪府建築士会 建築情報部門	
編集	建築情報部門『建築人』編集部	
	部門長	飯田英二
	委員長	高原浩之
	編集人代表	北 聖志
	編集人	梅田武宏
		河合哲夫
		曾我部千鶴美
		牧野隆義
		武藤優哉
事務局		山本茂樹
印刷		中和印刷紙器株式会社

信楽焼 洗面器・手洗器



信楽特有の土味を活かし、素朴な味わいを残しながら、カラフルでモダンな器に仕上げました。大きさや仕様の異なる5アイテムをご用意。それぞれ8色展開。設置場所やインテリアに合わせてコーディネートしていただけます。

-  手洗器 HW1053-■
 -  洗面器 HW1052-■
 -  手洗器 HW10530-■
 -  手洗器 (埋込型) HW1051-■
 -  洗面器 (埋込型) HW1050-■
- * 品番末尾の■には右記の色記号が入ります

- | | | | |
|---|--------------|---|------------------|
|  | W
(ホワイト) |  | R
(レッド) |
|  | D
(ブラック) |  | DBR
(ダークブラウン) |
|  | B
(ブルー) |  | BG
(アイボリー) |
|  | PU
(パープル) |  | DH
(ダークグレー) |

世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」

大阪府堺市に位置する「百舌鳥エリア」と羽曳野市・藤井寺市に位置する「古市エリア」からなる、古墳時代の王たちの墳墓（ふんぼ）群。世界最大級の大きさを誇る仁徳（にんとく）天皇陵古墳（堺市 墳丘長 486m）や応神（おうじん）天皇陵古墳（羽曳野市 墳丘長 425m）に代表される巨大な前方後円墳をはじめ、中小規模の円墳、方墳など、バラエティー豊かな墳形と規模の古墳で構成される。

本年7月にアゼルバイジャンで開催された、第43回世界遺産委員会において、世界遺産に登録された。

大阪府・堺市・羽曳野市・藤井寺市



写真提供：堺市